



受験も就活も、最後まで諦めずに挑戦

◇今回は、梅村悠花さん（富山大学経済学部・銀行勤務）のレポートです！

みなさんこんにちは。

2012年度卒業の梅村悠花と申します。私は、富山大学経済学部を卒業し、現在は銀行に勤めています。高校時代は部活動（吹奏楽部）に励み、大学ではアルバイト仲間やゼミ仲間と旅行に行ったりと楽しい日々を過ごしました。今回は高校時代、大学時代の経験をもとに、挑戦することの大切さを伝えたいと思います。

高校時代

先ほど申し上げたように高校時代の思い出は？と聞かれたら「部活」と即答するほど、3年間は部活動の思い出でいっぱいです。正直、「〇〇大学へ行きたい」「将来、〇〇になりたい」「大学で〇〇を学びたい」といった目標がなく、勉強した記憶といえば、テスト直前のみでした。

高校3年生の夏あたりから、一人暮らしができる国立大学へ行きたい。といった漠然とした目標ができましたが、なぜか当時の私は「自分はなんとかなる」と信じ、なかなか受験勉強に取り組みませんでした。

いざ、「受験シーズン」が始まると、滑り止めの東海地方の私立大学は不合格が続きました。センター試験の結果からは、判定の良い国立大学はなく、実際に受験した富山大学も合格出来るかわからない結果でした。前年度の合格実績から推測すると、二次試験を9割以上正解すれば、合格出来る状態でした。最初は、二次試験で9割以上正解することは出来ないと思い、受験することすら諦めようと思いました。しかし、二次試験まで、残り一か月だったので、「どんなに苦しい想いをして勉強しても、残り一か月だけ。」と覚悟を決め、少しでも可能性があるなら勉強して、受験しようと決心しました。その結果、前期試験で富山大学に合格することができました。あの時、合格することを諦めてたら、受験しても合格することはなかったと思うと、今でも不思議に思います。

大学時代

大学に入学してからは、サークルに所属せず、人生初のアルバイトなど、新鮮で楽しい日々でした。2年生からは、財務会計論を専攻する、学生同士、仲がいいゼミに所属しました。同級生は10人所属しており、懇親会や旅行、年に一度は、上級生や同級生、教員の総勢31名でスキー合宿を行うなど楽しい学生生活を送りました。

3年生の夏から、企業研究やインターンシップに参加するなど、就職活動が始まりました。入学してからはアルバイト、ゼミに参加していただけで、他の人に比べてアピールできるポイントがなく、希望職種がありませんでした。ゼミの専攻に財務会計論を選択していたことから、インターンシップは金融業界に参加することにしました。そこで出会った人や、業務内容に魅了され、その時から金融業界で働きたいなど考えるようになりました。先ほど申し上げたように、他の人に比べてアピール出来るポイント

が少なかった為、OB訪問や会社訪問し、金融業界で働きたい熱意を伝えました。熱意が伝わったおかげか、希望の金融業界で働くことが出来ています。



ゼミのスキー合宿

現在

大学4年間を富山で過ごし、卒業後は地元に戻り、銀行で働いています。新入社員時は覚えることが多く、試験勉強も大変だったり、仕事関係で悩むこともありました。3年目になった現在でも、年に数回の試験や、まだまだ新しく覚えることもあったりします。しかし、一緒に働く人や、お客様など、毎日たくさんの人と関わり、充実した日々を送っています。これまで、「もっと頑張ればよかった」と後悔したこともありますが、最後まで諦めずに挑戦したおかげで、その後悔も忘れるぐらい、学生時代は楽しい思い出ばかりでした。そして、現在、充実した毎日を送っています。

最後に

私は、大学受験時も就職活動時も目標がなかなか見つけられず、直前でないと、真剣に向き合えませんでした。「あの時、もっと頑張ればよかった」と後悔することもありましたが、後悔してからも頑張れるチャンスはあります。「あの時、もっと頑張ればよかった」「違う選択をしていればよかった」と後悔して終わらないでください。諦めてしまうと、チャンスをものにすることは出来なくなります。失敗することもあるかと思いますが、最初から諦めずに挑戦することで成功すると思います。計画的に取り組んでいたら、今は違った現実だったかもしれませんが、計画的に取り組めず、取り掛かりが遅れても、諦めずに挑戦したおかげで、今の自分があると思いますので、みなさんも諦めずに挑戦してください。みなさんのこれからのご活躍を願っています。